

令和5年度 59回生 授業概要 (シラバス)

科目名	看護管理・看護研究(看護管理)	分野/教育内容	統合分野/看護の統合と実践
開講年次・時期	3年後期 令和5年10月23日	単位数/時間	1単位/30時間 (看護管理15h+看護研究15h)
担当講師	講師名	所属・役職	資格・免許
	柚 智子 中田 留美子	岩手県立宮古病院・総看護師長 岩手県立宮古病院・副総看護師長	看護師、 看護師
授業の概要/到達目標	看護管理がどのように、誰によって行われているか、また質の高い看護を行うために看護管理がどのような重要な役割を果たしているか理解する		
事前学習内容	教科書を読んでおくこと		
成績評価の方法	終講試験(100点満点)		
使用テキスト	系統看護学講座 看護管理 看護の統合と実践1 (第10版第6刷) 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	講師	授業形態
第1回 10/23	【第1章 看護とマネジメント】 A. 看護管理学とは B. 看護におけるマネジメント 【第3章 看護職のキャリアマネジメント】 A. キャリアとキャリア形成 B. 看護職のキャリア形成 C. 看護専門職としての成長 D. タイムマネジメント E. ストレスマネジメント	柚	講義
第2回 10/30	【第2章 看護ケアのマネジメント】 A. 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 B. 患者の権利の尊重 C. 安全管理 D. チーム医療 E. 看護業務の実践	中田	
第3回 11/6	【第4章 看護サービスのマネジメント】 A. 看護サービスのマネジメント B. 組織目的達成のマネジメント C. 看護サービスの提供のしくみづくり D. 人材のマネジメント E. 施設・設備環境のマネジメント		
第4回 11/13	F. 物品のマネジメント G. 情報のマネジメント H. 組織におけるリスクマネジメント I. サービスの評価	柚	
第5回 11/15	【第6章 看護を取り巻く諸制度】 A. 看護の定義 B. 看護職 C. 医療制度 D. 看護政策と制度		
第6回 11/20	【第5章 マネジメントに必要な知識と技術】 A. マネジメントとは B. 組織とマネジメント C. リーダーシップとマネジメント組織の調整	中田	
第7回 11/22	【まとめ】	柚	
終講試験			
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> グループワークでは自分の意見をもって主体的に行動する 看護に関係した時事を、新聞・テレビ・Web等で情報収集しておく 		

令和4年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	看護研究	分野/教育内容	統合分野/看護の統合と実践
開講年次・時期	2年後期 令和5年1月～3月	単位数/時間	1単位/30時間 <u>看護研究：15時間</u> 看護管理：15時間 2単元を合わせて1単位
担当講師名	石崎美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	1. 看護研究を行う意義について理解し、研究の一連の過程を学ぶ 2. 事例研究に取り組み、成果を発表する		
到達目標	事例研究の基本的な過程をたどりながら研究活動に取り組み、その成果をまとめ発表する		
事前学習内容	文献検索方法について復習・確認しておく		
成績評価の方法	1. 看護研究 100点 (1) 終講試験：50点 (2) 事例研究の取り組み評価（取り組みのプロセス、態度、論文内容、発表態度）：50点 2. 看護管理 100点 ※1と2の平均が評価点となる		
使用テキスト	系統看護学講座〔別巻〕看護研究（第1版），医学書院，2022.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	看護研究の意義、(第1章)		講義／演習
第2回	研究における倫理、研究態度(第4章) 文献検索の方法、文献整理の方法(第1章～第3章)		講義／演習
第3回	研究デザイン(第5章)		講義
第4回	事例研究 (1) 研究計画書作成、実施時の留意点(第8章／第10章)		講義
第5回	事例研究 (2) 論文作成(第9章)		講義
第6回	文献クリティーク(第9章)		演習
第7回	プレゼンテーション（準備～発表）(第9章)		講義
第8回	終講試験 3年次での取り組みオリエンテーション		
履修上の留意点	(1) 初回講義時は「 <u>『看護職の倫理綱領』</u> を準備する。 (2) 配布資料は毎回全て持参する。 (3) 講義期間中（1～3月）に自主的に文献検索を行い、多くの論文を読むように心がける。その中で次年度に取り組む看護事例研究発表の準備として興味のある領域やテーマについての文献を5つ以上収集する（文献整理まで含める）。 (4) 研究計画書の書き方、論文の書き方の基本的知識を習得し、3年次の実習開始とともにすぐに取りかかれるように準備する。 (5) 昨年度の事例論文集を持参する。		